

	方針	考え方
対応①	街区公園に相当するような広場を整備する	建築面積と広場の関係を複数案スタディし、街区公園相当の規模・機能を確認できる計画を検討しました。
対応②	60mの街並みを尊重し、容積率700%前後としても建築物の高さ80m以下とする	60m以上のボリュームの見え方について複数案スタディし、検討しました。
対応③	建築物の一階部分と外部空間との関係をより親密なものとする	低層部の計画について複数案スタディし、検討しました。
対応④	地下鉄駅へのバリアフリー動線を整備する	都市計画提案時の内容を実現する計画とします。
対応⑤	地域防災への取り組みを強化する	都市計画提案時の内容を実現する計画とし、更に今後、地域の皆様と検討を行います。

建築面積と広場の関係を複数案スタディし、街区公園相当の規模・機能を確認できる計画を検討しました。

凡例

- 青空広場範囲
- ピロティ広場範囲

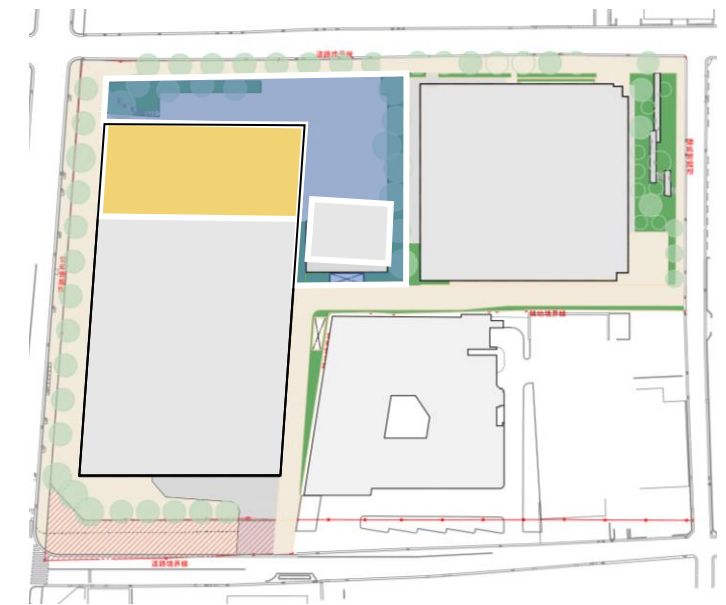
a. 青空広場で2500㎡確保



b. 一部ピロティ化して2500㎡確保



c. 半分程度ピロティ化して2500㎡確保



※関係法規に不適合箇所があります。広場形状の参考イメージとして提示しております。

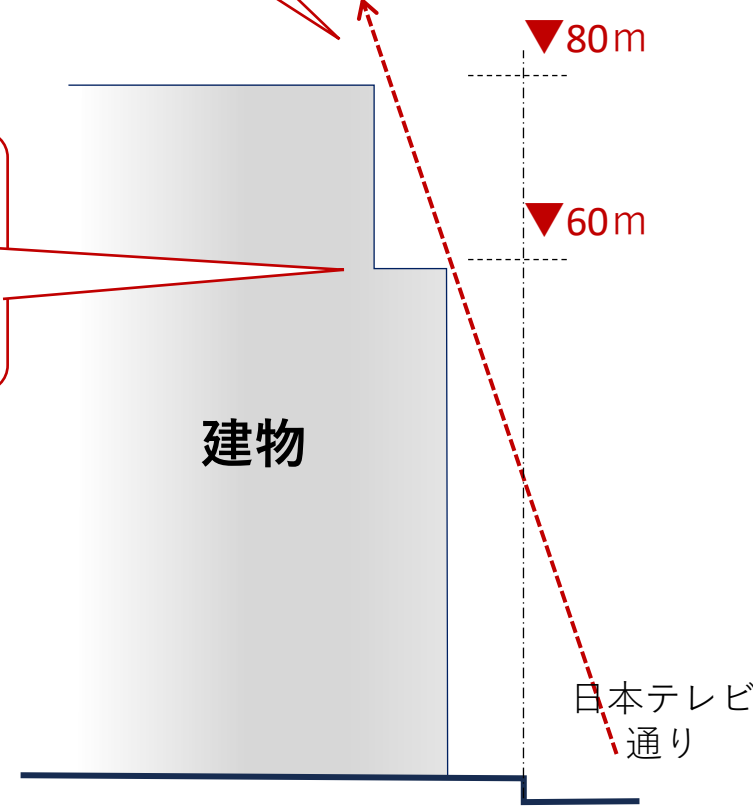


60m以上のボリュームの見え方について複数案スタディし、検討しました。

a.60m以上のボリュームをセットバックし、日本テレビ通りから見えなくする

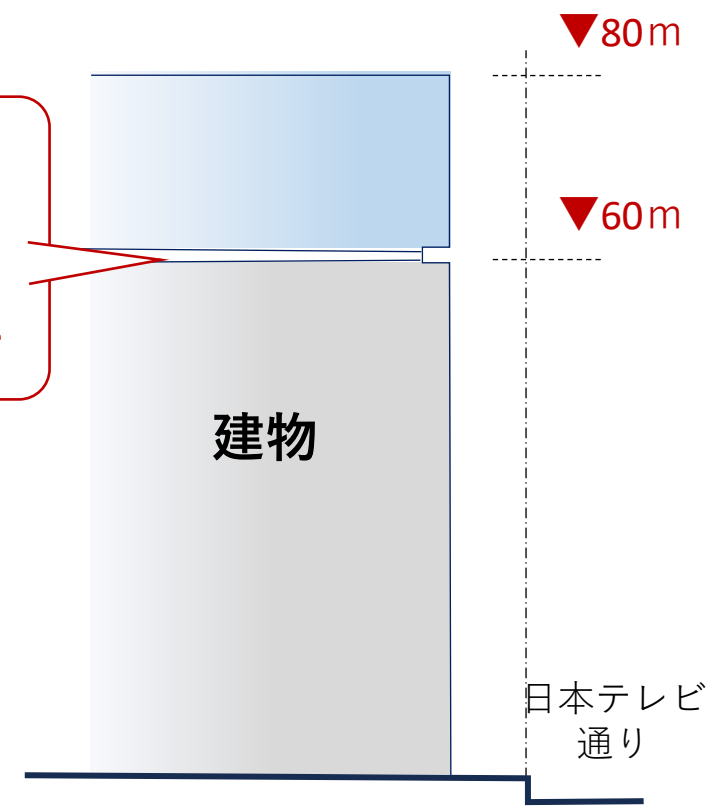
60m以上のボリュームが日本テレビ通り対岸から見えなくするようにセットバック

既存地区計画の高さ制限によるまち並み形成に配慮する基壇

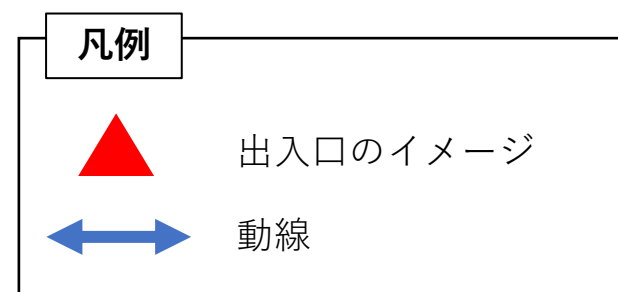


b.60m以上の部分はデザイン切り替え(空に溶け込むデザインなど)

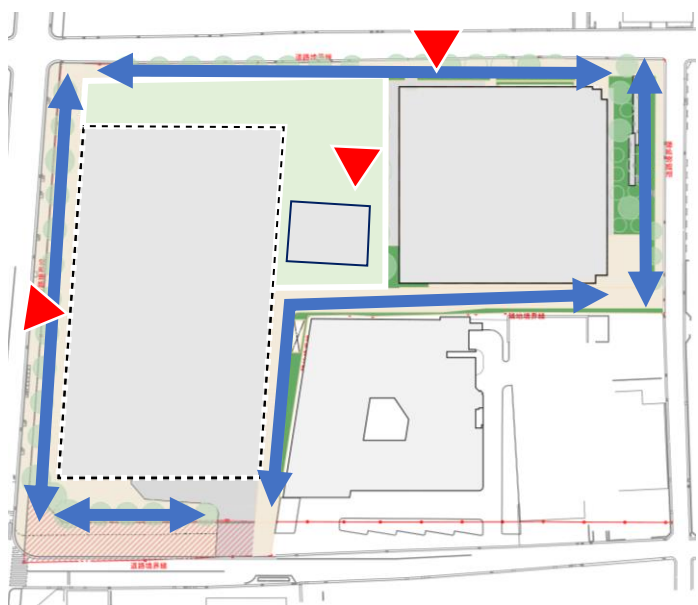
既存地区計画の高さ制限のまち並みに配慮するデザインの切り替え



建物の一階部分の動線について複数案スタディし、検討しました。
アクセス動線や共用部が多くなり、外部空間と建物内部の結びつきを強くすることが重要だと考えました。

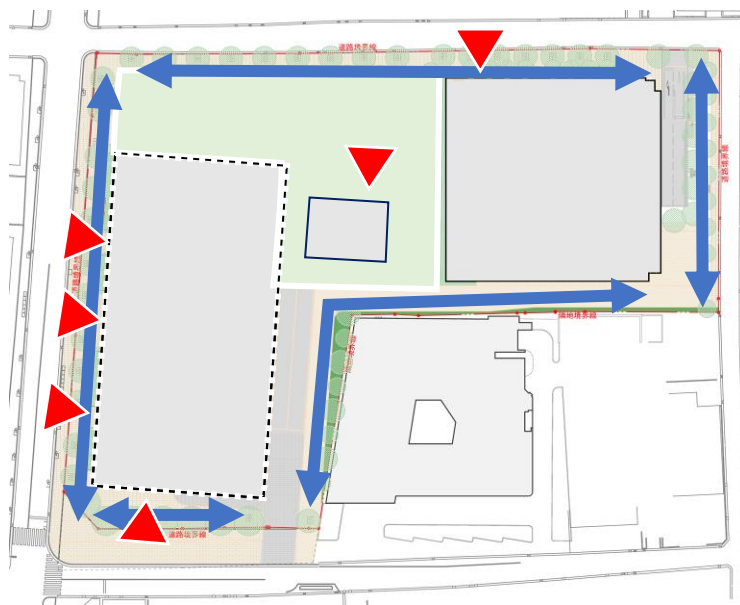


a. 出入口・動線を集約

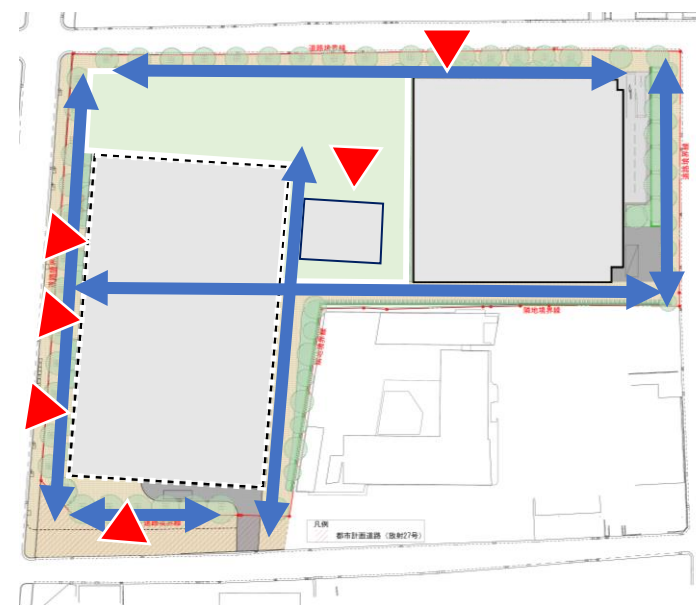


※関係法規に不適合箇所があります。
参考イメージとして提示しております。

b. 出入口を分散
路面型の店舗配置



c. 出入口を分散
建物内外を結ぶ動線
路面型の店舗配置



前ページ一階部分の動線の考え方に合わせて、低層部の建物デザインについて考え方を複数検討しました。

a. 出入口・動線を集約

b. 出入口を分散
路面型の店舗配置

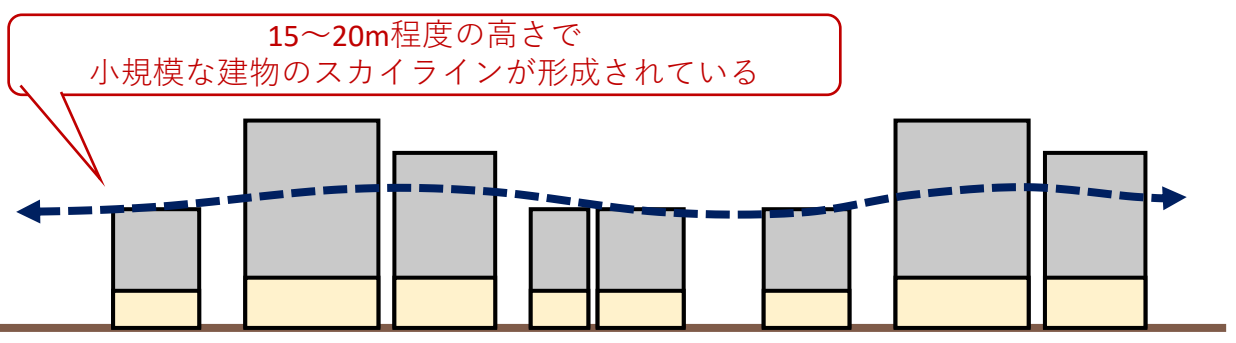
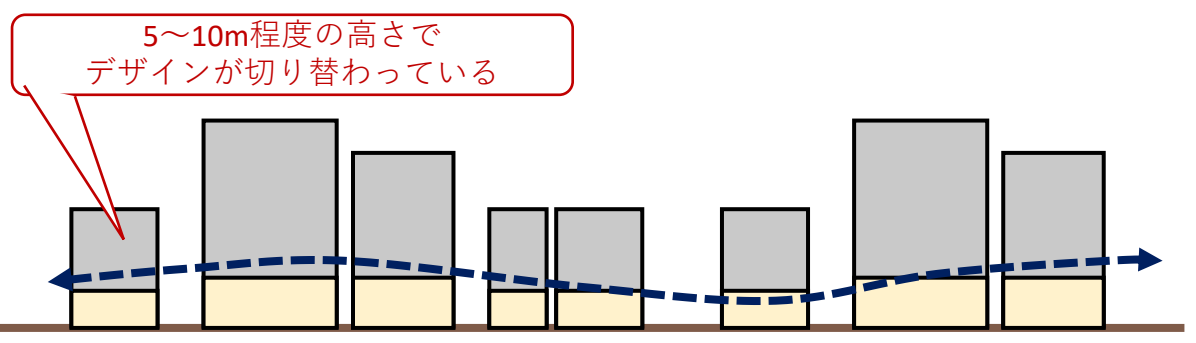
c. 出入口を分散
建物内外を結ぶ動線
路面型の店舗配置

a. 日本テレビ通り沿道のデザイン切り替えに合わせて
2層程度でファサードデザインを切り替える

b. 日本テレビ通り沿道の建物ボリュームに合わせて
高さの間口の分節を図る

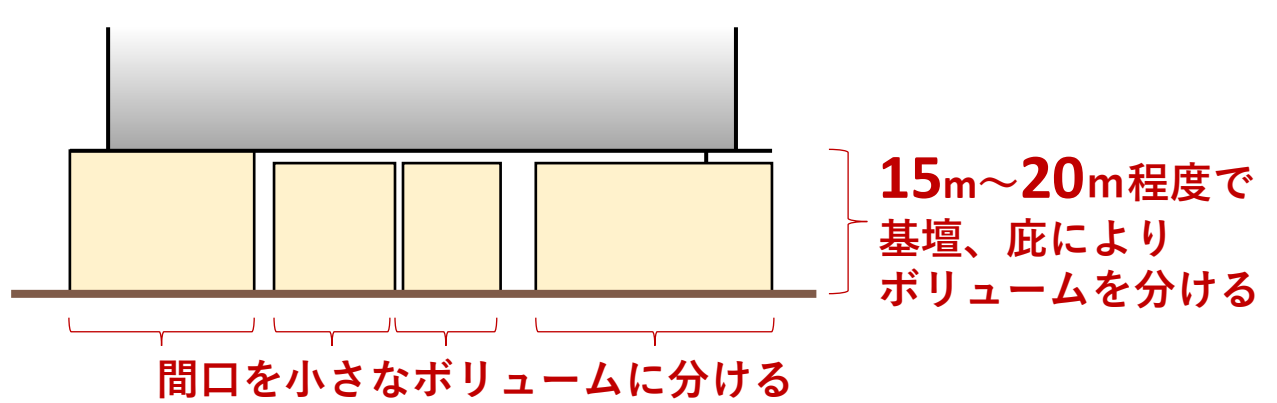
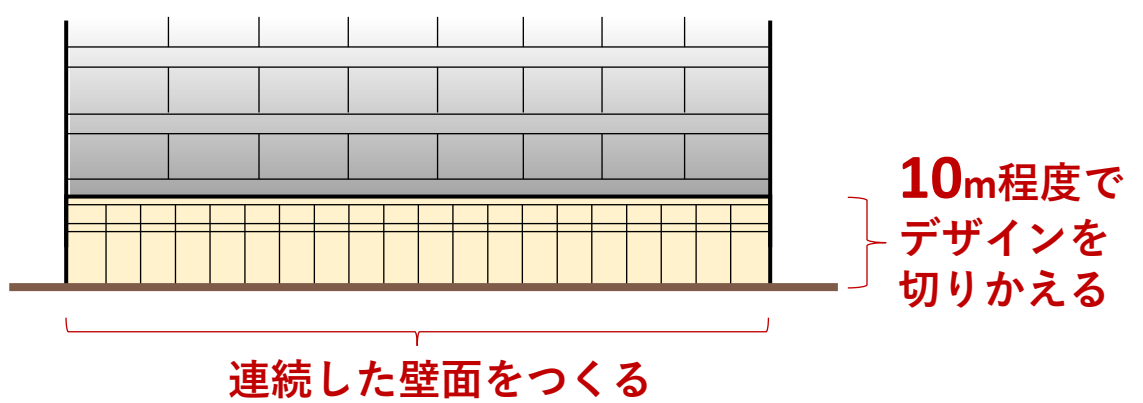
◆踏襲するまちなみの要素：デザイン切り替え

◆踏襲するまちなみの要素：ボリューム



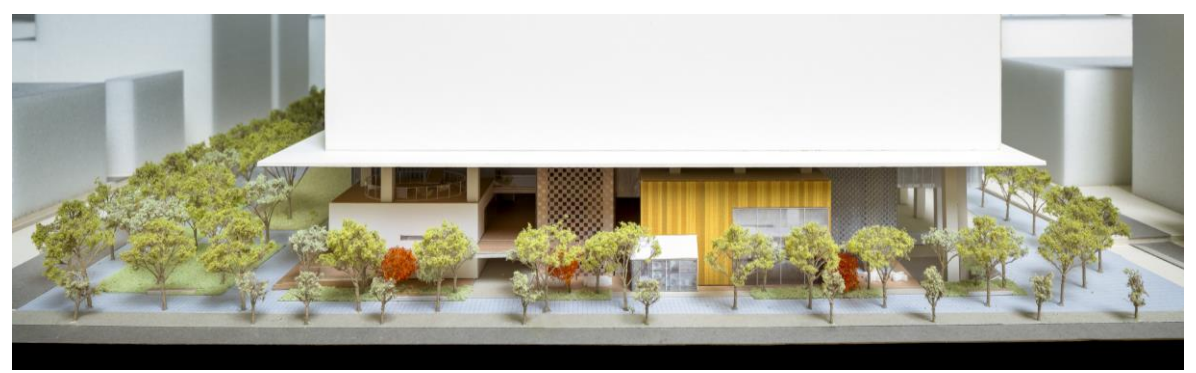
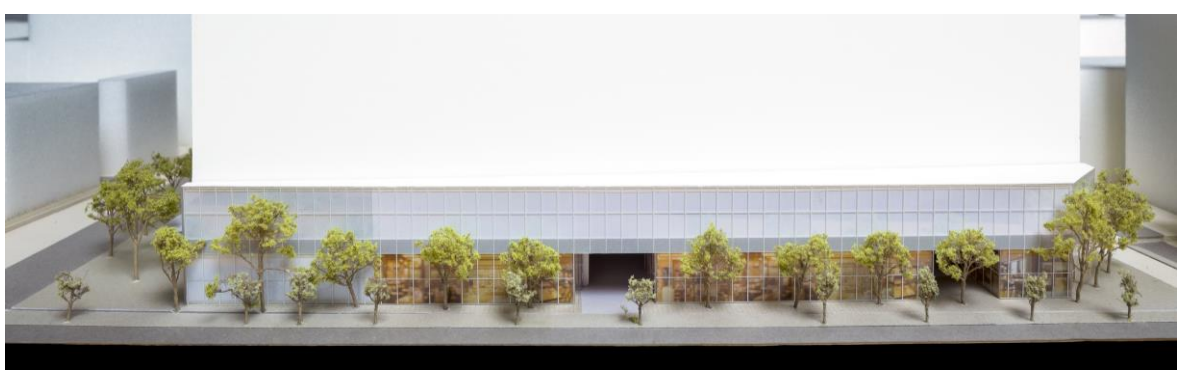
◆建物立面デザインの考え方

◆建物立面デザインの考え方



◆計画イメージ例

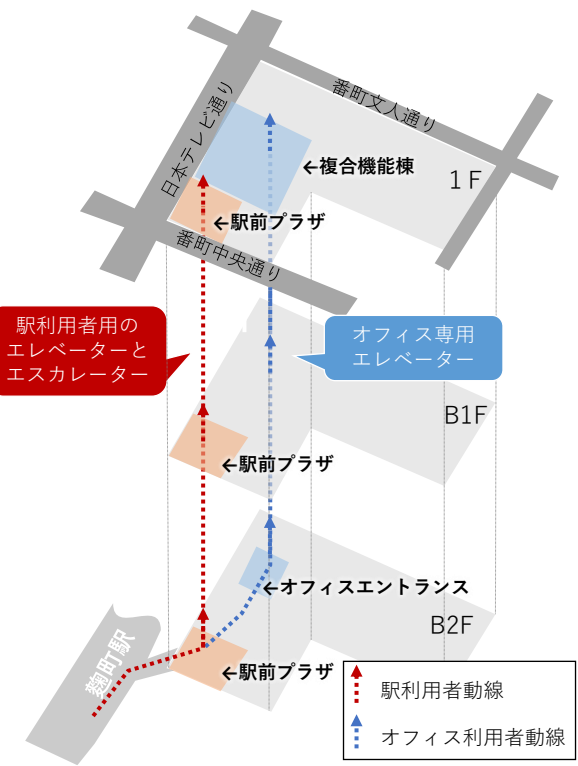
◆計画イメージ例



バリアフリー化をはじめとする地区施設、生活支援機能を修正プランにおいても従前案同様に整備します。

① 駅前プラザバリアフリー/地下鉄通路拡幅

駅改札階から地上へのバリアフリールートを整えた駅前プラザを整備します。併せて、改札外の地下鉄通路の拡幅と表層再整備により快適な歩行者ネットワークを整備します。



計画建物内におけるオフィス利用者動線と駅利用者動線はそれぞれに計画します。

② 地域交通広場整備/③ 番町中央通り一部拡幅整備・相互通行化

駅からの乗換を円滑にする地域交通広場の整備に合わせ、番町中央通りの一部双方向化を行うことで歩車分離を図るとともに、住宅地側への車両の流入を防ぎます。



計画地は地域福祉交通風ぐるまの麹町ルートと富士見・神保町ルートの結節点であり、また、地下鉄駅との結節点であるため、利便性の向上・バリアフリー化に寄与する施設です。また、路上でのタクシー乗降ではなく、屋根のある交通広場での乗降を可能とし、安全性を向上します。

計画地は3つの避難所（小学校）の区域境に位置しています。広場・建物低層部・エリマネ施設の活用、商業テナント・スタジオ棟との連携により、3つの避難所の機能を補完する民間施設ならではの災害時対応を提供、地域のよりどころとしての役割をめざす考えです。
 また、現在番町の森などで行われている避難訓練・啓蒙活動を継続的に行うことで身近な避難場所として活用します。今後さらに、地域主体のエリアマネジメント組織と必要機能について検討を行います。



1) エリマネ施設の災害時拠点化・自立性確保

- ・太陽光発電・非常用発電(スタジオとの連携)など
- ・充電スポット
- ・デジタルサイネージ (N24配信) 設備
- ・FREE Wifi
- ・伝言板設置
- ・行政との被災/避難情報ネットワーク構築・発信

2) 多様な待機/避難スペース (女性専用、ペット同伴等)

3) 炊き出し/給水機能確保

- ・ビル内テナント提供による材料調達
- ・広場の火気使用 (調理場所の提供)
- ・火器・道具 (備蓄)
- ・防災井戸 (千代田区確認必要)

4) 目隠し付きマンホールトイレを多数設置

5) 医療 (救急対応) 連携検討

6) 防災訓練/消防訓練の実施

7) 大型緊急車両の受け入れ



千代田区医師会 子ども向け防災イベント

第3回子ども防災体験

参加無料
 ~楽しく学ぶ!~
 会場: 番町の森

10/22(日)

10:00-12:00/13:00-15:00
 (午雨天延期)

もしもの時に備えて、子どもにもできる防災対策を体験しよう!

- 心肺蘇生、AEDの使い方を学ぶ
- 麹町消防署職員がレクチャー “消火器体験”
- セーブ・ザ・チルドレンによる防災ワークショップ
- しりとりスタンプラリー (対象:小学生、抽選で賞品が当たります!)
- エレコムVRで地震体験 (対象:15歳以上)

防災に関する絵本や紙芝居の読み聞かせブースなども!!

家族で起震車体験

時間: ①10:00 ②10:30 ③11:00 ④11:30
 ⑤13:00 ⑥13:30 ⑦14:00 ⑧14:30

対象: ご家族(お子様と保護者の方、1組4名まで)
 2歳未満のお子様は乗れませんので、一時預かり致します。

定員: 各回5組、事前申込先着順 (催しにより変動あり)

事前申込制
 申込サイト
 申込開始: 10月5日(木)10時より
 URL: https://bit.ly/38888888